



紅葉最前線! 大雪高原沼めぐりと 黒岳～白雲岳～赤岳の三色縦走



日程

9月20日(火)～9月22日(木)

旅行代金

お一人様 **58,000円** 層雲峡温泉集合・解散

集合

9月20日(火) 午後5時までにホテルへお越し下さい

銀泉台の紅葉(イメージ)

解散

9月22日(木) 午後4時～5時頃予定/下山後、層雲峡温泉にて解散となります

●食事/朝0・昼0・夕2 ●4名様より催行決定 ●層雲峡温泉より全行程ツアーリーダー同行

●宿泊/層雲峡マウントビューホテル、湯元銀泉閣など(または同等クラス) 2～4名1室

※お一人部屋希望の方は16,000円(2泊分)追加料金がかかります

暫定行程表

日	地名	行程	食事
9/20 (火)	層雲峡温泉	遅くとも 17:00 までに宿泊する 層雲峡温泉 のホテルにお越し下さい。 ツアーリーダーがホテルにてお待ちしております。 ※2日目の朝食、登山中の昼食、行動食はこの日のうちにご用意下さい。 ※層雲峡温泉にはコンビニがあります。ホテルから徒歩5～10分です。行動水やお湯はホテルで用意できます(飲み物の自販機があります)。 【層雲峡温泉・泊】	— — 夕
9/21 (水)	層雲峡温泉 黒岳 白雲岳 赤岳 銀泉台 層雲峡温泉	■ 黒岳～白雲岳～赤岳～銀泉台縦走 ●歩程:約9時間 朝食は各自になります。出発前にお部屋でお召し上がり下さい。 5:30 頃、ホテルを出発。 6:00 始発の 黒岳ロープウェイ 、五合目よりリフトを乗り継いで 七合目(1,510m) へ。ここから登山スタート。 七合目・・・ 黒岳(1,984m) ・・・北海岳・・・ 白雲岳(2,230m) ・・・小泉岳・・・ 赤岳(2,078m) ・・・ 銀泉台(15:30頃予定) =シャトルバス=層雲峡温泉(16:30～17:00 予定) ※3日目の朝食、登山中の昼食、行動食はこの日のうちに温泉街のコンビニなどでご用意下さい。 【層雲峡温泉・泊】	— — 夕
9/22 (木)	層雲峡温泉 大雪高原温泉 ヒグマ情報センター 大雪高原沼めぐり 大雪高原温泉 層雲峡温泉	■ 大雪高原沼めぐり ●歩程:約7km/約4時間 朝食は各自になります。出発前にお部屋でお召し上がり下さい。 7:00 頃、ホテルを出発。専用車で 大雪高原温泉 へ。まずは「 ヒグマ情報センター 」にてレクチャーを受けます。レクチャー後、 大雪高原沼めぐり へ。大小30以上の沼が点在する大雪山屈指の紅葉の名所です。時計回りで一周します。 大雪高原温泉・・・長沼・・・滝見沼・・・ 緑沼 ・・・えぞ沼・・・ 大学沼 (草紅葉が見事)・・・ 高原沼 (緑岳方面の展望)・・・ 空沼 (秋は枯沼に)・・・大雪高原温泉 注●ヒグマ出没状況によっては入山規制のため、一周できない場合があります。 下山後、専用車で層雲峡温泉へ。着後、解散(15:00～15:30 頃) ※下山後の温泉入浴は各自となります。	— — —

※交通/＝車・バスなどの移動・・・徒歩にて登山

※歩程は休憩時間を除いた実質歩行時間の目安です。当日の天候、登山道の状況、歩くペースなどにより前後します。

※昼食、行動食、行動水は各自となります。登山中に手軽に摂れるものを用意し、携行して下さい。

※天候により2日目と3日目の行程を入れ替える場合があります

※天候や時間により一部コースをカットする場合があります。特に黒岳～白雲岳～赤岳の縦走は銀泉台からのシャトルバス最終便に乗車するため、時間的に厳しい時は白雲岳を割愛する可能性も有り得ます。あらかじめご了承下さい。

※下山後の温泉は各自払いとなります。ただし宿泊ホテルによっては下山後の入浴が無料の場合があります。

注●3日目に縦走を行った場合、層雲峡温泉の解散が17時頃になる可能性があります。当日に層雲峡温泉から公共交通機関(バスなど)での移動を予定している方は最終時刻を事前にご確認下さい。特に秋は便数が少なくなります。御心配な方は下山後、層雲峡温泉にもう1泊することをおすすめします。宿の追加手配などご希望の方はお問い合わせ下さい。



沼に紅葉が映り一面が錦秋の世界に(イメージ)

黒・白・赤縦走と大雪高原沼めぐり 持ち物リスト

	品名	数量	チェック	備考
1	登山用シューズ	1組	○	靴底のしっかりしたもの。防水性の良いゴアテックスや皮革製の軽登山靴など。履き慣れたものを使用して下さい。
2	タウンシューズ	1組	△	移動時の履き替え用に。運動靴やスニーカーなど。
3	旅行かばん(小～中)	1個	○	飛行機や宿に預ける荷物入れ用。バッグやスーツケースでも良い。
4	登山用ザック	1個	○	登山時に背負うザック。目安は容量 25～35ℓ程度の日帰り用。道外からのご参加の方は機内持ち込み兼用にしても良いでしょう。
5	雨具(上下)	1着	○	しっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型が良いでしょう。防寒着としても活用します。
6	防寒着 (フリースやダウンなど)	敵数	○	標高 2,000m 近い北海道の秋山の稜線は太陽が陰るとかなり寒くなります。また風が強いと体感温度も下がります。軽くて乾きの早いフリースジャケット、ダウンジャケットなどは必ずご用意ください。
7	衣類(着替え)	適数	○	長袖シャツ、半袖シャツ、スラックス、肌着、靴下など。
8	帽子、フェイスガード (日除け用・防寒用)	1個	○	強い日差しを遮るためつばのある帽子が良いでしょう。強風時はフェイスガード(目出し帽)も便利です。耳を覆う防寒用帽子もご用意下さい。
9	手袋類(厚手・薄手)	敵数	○	薄手と少し厚手のもの、また、雨天時に使用する防水性のあるものなど、数タイプあると良いでしょう。
10	サングラス	1個	○	好天時、強い紫外線から、目を保護するために必携と言えます。
11	水筒・テルモス	1個	○	容量1～2ℓ程度。ペットボトルでも可。北海道の秋山は好天でも冷え込む日が多くなります。テルモスに温かい飲み物を入れてお持ち下さい。
12	洗面用具	適数	○	浴衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊する温泉ホテルのアメニティとして付いています。
13	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
14	お財布・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは有ると便利です。保管に気をつけましょう。
15	ヘッドライト・笛	各1	○	登山には必携です。ヘッドライト用の予備電池も必ずお持ち下さい。
16	ロールペーパー	適量	○	トイレ用など、何かと使います。
17	携帯トイレ	2個	○	北海道の山では必携です。2日分ご用意ください。
18	スパッツ	1組	○	高原沼めぐりはぬかるみが多く、対策用にあると便利でしょう。
19	熊除け鈴	1個	△	高原沼めぐりでは付けた方が良いでしょう。できるだけご用意下さい。
20	折り畳み傘	1本	△	街中用に。登山道に傘をさして歩くことは禁止です。
21	日焼け止め	適数	△	好天時、強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
22	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はあれば安心。伸縮式が便利です。ダブルストックがよりおすすめです。
23	医薬品	適数	△	持病用の特別な薬などあれば、各自ご用意下さい。
24	ザックカバー	1枚	△	ザックの防水用レインカバー。登山中の急な降雨に備えて。
25	カメラ・携帯電話	適数	△	予備電池や充電バッテリーも忘れずに。
26	行動食・嗜好品(2日分)	適数	○	層雲峡温泉のコンビニにて現地調達可能ですが、品薄の場合も有ります。普段愛用している行動食・嗜好品があれば事前にご用意下さい。

※上記のリストはあくまで参考として御利用下さい。 ○：必要なもの △：あると便利なもの